

## 【重要】

# 主日礼拝についてのお知らせ

2018年7月1日

日本聖公会東京教区聖アンデレ教会  
牧師 司祭マリア・グレイス笹森田鶴

## 1 はじめに 教区全体で考えよう

皆様ご存知のように、東京教区ではここ数年聖職数と教会数（礼拝数）がアンバランスとなり、主日礼拝の司式・説教者の確保と調整を各教会・礼拝堂の教役者だけで担うのは非常に困難になっています。この状況はしばらく今後も継続される見込みです。

各教会グループでは、主日の礼拝を安定的におささげするための様々な工夫をすでに実行してきました。東京教区はありがたいことに地域性もあり、他教会グループや退職聖職、学校や病院のチャプレン、また他教区からの協力をいただき、この問題を解決しようとしてきました。また信徒による礼拝の実施もありました。しかし個別の判断や調整だけで行っていたために、教会グループごとの格差も生じ、また主日礼拝の執行そのものの考え方にも差が生じてきています。

主日礼拝をどのように教区全体がおささげしていくかということは、教区全体をひとつの教会として考えた時に、その牧会責任者である教区主教（管理主教）の指導や判断に負うものとなります。教役者の人事に関わるからです。たとえ同じ教区だとしても、それぞれの聖職が勝手にあちこちで聖龕執行することはできませんし、主教の了解の上で主日礼拝の継続が実施されているということは非常に重要なことです。

そこで、昨年からは各教会グループの幹事教会の牧師たちが教区主教（管理主教）に招集され、教区全体で実態を可視化させながら、問題点を解決したり協力しあったり、共通認識をもつために協議を続けてきました。その結果、今年4月からは少しずつルールを定めて試みながら、教区全体での調整による主日礼拝を実施しています。それは教区ホームページ掲載や各教会への配布ということで共有されています。

この教区全体での主日礼拝調整の中で、分かったことがあります。それらは次のことです。

## 2 教区全体の調整で分かったこと①

ひとつめは、教会グループの教役者数のバランス、また主日礼拝の執行状況や主日の交わりや教会形成のための時間に確保に差があるということです。

実は一番安定しているのは、聖アンデレ教会が属している城南教会グループです。城南教会グループは聖アンデレ教会、聖オルバン教会などの8教会ですが、協力司祭・管理牧師を合わせると司祭8名、執事1名の聖職がいます。

ただし、協力司祭の市原信太郎司祭は月に一度中部教区岡谷聖バルナバ教会での主日礼拝執行のために出張があり、また通常勤務が月曜から土曜まで入ることがあります。主日をすべて埋めてしまうと、休日確保が難しい状況を作ってしまいます。また学校のチャプレン2名は学校行事や出張などで主日に不在の時もあり、また本来休日である主日にお働きいただくことをお願いしている現状です。そのような中で、真光教会は月に二度信徒による「み言葉の礼拝」、東京聖マリア教会は月に二度もしくは三度執事による「み言葉の礼拝と陪餐」を実施しての主日礼拝となっています。それぞれ豊かな経験となっていますが、グループ内でも聖職との接触率には差があります。

下町教会グループも8教会に協力司祭・管理牧師を含めて司祭8名ですが、諸施設も4箇所あり、教会活動の事情が城南とは違っていています。他グループからの管理牧師や学校関係者の協力を加えてはいるものの、グループ内のどの教会も月に一度は信徒による「み言葉の礼拝」を実施しています。その他、外濠教会グループと山手教会グループはそれぞれ4教会で司祭3名または4名での調整となります。

そのような中、東京聖テモテ教会では司祭不在の機会を積極的に捉え、太田司祭の出張不在の折の8月の一主日は信徒が別の教会で過ごす経験の機会としました。合同礼拝を実施している教会もあります。また建物の不具合という事情ではあるものの東京聖マルチン教会は、4月から自分たちの教会での礼拝は実施しないことを決定し、池袋聖公会もしくは練馬聖ガブリエル教会での礼拝に合流しています。

### 3 教区全体の調整で分かったこと②

---

ふたつめは、「夏はピンチだ」ということです。

先述したように、4月以降の教区全体の主日礼拝執行調整は、退職聖職を含む協力司祭や学校関係者の協力によって成り立っています。そうしますと、特別な学校行事（キャンプや出張、研修の同行など）が多い夏は、チャプレンの司祭たちの多くが不在であるということが分かりました。そのため、ことに下町グループでは主日礼拝執行調整がむずかしく、通常の調整以外の方法を取る必要が生じました。

そこで、より安定している城南教会グループから、また外濠教会グループから支援を実施することとなり、高橋宏幸司祭と笹森、また高橋顕司祭がそれぞれ8月に一度ずつ下町教会グループの主日礼拝執行のために出向くこととなりました。笹森の担当は8月26日（日）、神田キリスト教会です。その日の聖アンデレ教会には、広田勝一管理主教が巡回訪問として来てくださいます。

### 4 聖アンデレ教会も考え方を改めてみる試みをしてみよう。

---

礼拝数と聖職数のバランスが取れていないということがこの度の調整のむずかしさの主な原因です。もちろん司祭が不在の場合には、基本的には主教秘書が別の司祭を派遣するよう調整に努めてくれます。ただし、ことに夏に、別の司祭派遣を依頼するということは、どこかの教会の礼拝形式を変更してもらう可能性が生じたり、チャプレンの休暇を返上してもらったり、という事態を起こすこととなります。

そこで司祭不在の場合の主日礼拝の持ち方について、ケース・バイ・ケースでありながらも可能性を広げて実施してみるということは意味のあることであろうと考え、教会委員会でご協議いただき、次のように考え方を整理し、この度の試みを実施することといたしました。

1. 教区の出張命令で司祭不在の場合は、主教秘書に依頼して主日礼拝の司式者確保に努めます。

2. 8月5日（日）は教会キャンプが理由であるために、他の聖職を派遣してもらうのではなく、聖アンデレ教会の信徒によって礼拝をおささげします。7時半と10時半の礼拝は信徒による「朝の礼拝と嘆願」を行います。司式は礼拝委員でもある教会委員が行います。ただし、9時15分の礼拝は、日頃関わっている教会委員がすべて教会キャンプに参加するため、いつもの礼拝はお休みとします。ただし、礼拝当番が当日いらした方と祈りの時を持ちます。
3. 8月26日（日）広田勝一管理主教巡回日は、できるだけ10時半の礼拝にご参集いただきたいので、7時半の礼拝をお休みとし、10時半への参列を呼びかけます。9時15分、17時の礼拝は信徒により通常通り行います。

### 5 その他、外的要因からの変更

---

今年から12月初旬の日曜日の午前中、港区主催のMINATO シティハーフマラソンが毎年行われることとなりました。今年は12月2日に実施され、芝公園を出発して高輪、真柏、神谷町駅、赤羽橋駅を往来し、ゴールは東京タワーです。当日は8時半から11時半の間、車両通行規制、歩行者横断規制等が近隣各地で行われ、またどのぐらいの観衆が集まることとなるか予測不可能です。そのため、皆様が教会にいらっしゃる安全面を考慮いたしますと、今年は主日礼拝を通常通り実施するのは非常にむずかしい事態になることが予想されます。そこで、以下のようにいたします。

12月2日（日）7時半、9時15分、10時半の聖アンデレ教会での礼拝は実施せず、皆様はそれぞれ近隣や他の教会での主日礼拝に参加していただくようお願いいたします。夕の礼拝は通常通り行います。

### 6 おわりに

---

この度の主日礼拝の変更につきましては、様々なご意見があるかと思えます。どうぞ牧師や教会委員までご質問も含めお寄せください。そしてわたしたちの足りないところを神が補ってくださるようにとともに祈り、聖アンデレ教会の歩みを整えて参りましょう。